

香川高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	保健・体育Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	241122			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	実技			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建設環境工学科 (2019年度以降入学者)			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	教科書：現代保健体育 (大修館書店)						
担当教員	吉澤 恒星,中瀬 巳紀生						
到達目標							
様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得、を目指す。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
様々なスポーツ種目の実践を通じて、健全な身体の発達及び体力の向上がみられる	スポーツ種目全般について、試合をこなす体力が獲得できる。			得意な種目について、試合をこなす体力が獲得できる。		全ての種目において、試合をこなす体力が獲得できない。	
様々なスポーツ種目の実践を通じて、生涯スポーツ実践のための基礎スキルを獲得できる	スポーツ種目全般について、基礎スキルを体現できる。			得意な種目について、基礎スキルを体現できる。		全ての種目において、基礎スキルを体現できない。	
様々なスポーツ種目の実践を通じて、技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度を醸成できる。	授業での種目実践 (試合など) においてグループの中でリーダーシップを発揮できる。			授業での種目実践 (試合など) においてグループの中で良好な人間関係を構築できる。		授業での種目実践 (試合など) において人間関係を構築できない。	
様々なスポーツ種目の実践や保健の授業を通じて、健康に対する基本的な知識を習得できる	健康に対する基本的な知識を十分に習得し、日々の生活の中で実践できる。			健康に対する基本的な知識を習得し、日々の生活の中で部分的に実践できる		健康に対する基本的な知識を習得できず、実践できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 D-3							
教育方法等							
概要	様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得、を目指す。						
授業の進め方・方法	学習目標①～③に対応して、スポーツ種目の実践を実技形式の授業でおこなう。なお、種目によっては体力状況を考慮して内容を変更する場合がある。						
注意点	グラウンド状況が不良の場合は、特に運動場での実施種目について学習内容を変更する。 この科目は、本年度内及び進級後に再試験を実施しない。この科目の単位修得が進級要件となるので、必ず修得すること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	オリエンテーション・スポーツテスト	①授業計画の周知、評価方法の理解 ②自身の運動能力の現状把握			
		2週	スポーツテスト	自身の運動能力の現状把握			
		3週	スポーツテスト・ソフトバレーボール	①技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成 ②自身の運動能力の現状把握			
		4週	ソフトバレーボール・ソフトボール	①技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得			
		5週	ソフトバレーボール・ソフトボール	①技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得			
		6週	ソフトバレーボール・ソフトボール	①技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得			
		7週	バドミントン&卓球 (選択) ・ソフトボール	①技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得			
		8週	バドミントン&卓球 (選択) ・ソフトボール	①技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得			
	2ndQ	9週	バドミントン&卓球 (選択) ・ソフトボール	①技術者として求められるチームワーク (団体行動) やルール遵守といった模範的な態度の醸成 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得			
		10週	水泳	①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得			
		11週	水泳	①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得			
		12週	水泳	①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得			

		13週	水泳	①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得
		14週	体育大会	技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		15週	体育大会	技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		16週	試験実施せず	
後期	3rdQ	1週	バレーボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		2週	バレーボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		3週	バレーボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		4週	スポーツ大会練習	技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		5週	バレーボール・持久走	①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		6週	バレーボール・持久走	①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		7週	バレーボール・持久走	①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		8週	バレーボール・持久走	①健全な身体の発達及び体力の向上 ②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
	4thQ	9週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		10週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		11週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		12週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		13週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
		14週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得
		15週	バスケットボール・男子サッカー 女子バドミントン	①生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得 ②技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成
		16週	試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	2	
				自らの考えで責任を持つものごとに取り組むことができる。	2	
				目標の実現に向けて計画ができる。	2	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2	
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	2	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	2	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	2	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	2	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	2	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	2	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	2	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	2	

				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	2	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	2	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	2	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	2	
評価割合						
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他
総合評価割合	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	40
専門的能力	0	0	0	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	20